

いたやなぎ 町議会だより

令和3年
3月定例会

第29号
2021.5.14



主な内容

- 6人が一般質問 P2～7
- 予算特別委員会 P8～9
- 小学校統合問題検討特別委員会 P10～11
- 常任委員会審査 P12
- 一目で分かる審議結果 P13

板柳町中学校野球部の部長を務める3年生の佐々木玲旺さんに野球部の夢を語っていただきました。

昨年3月に出場予定だった全国大会が中止となり、チーム全員が悔しい思いをしました。練習では守備を徹底的にレベルアップしたい。チームの特徴である得点力を生かして全ての試合に勝利し、全国大会優勝を目指すかと力強く語ってくれました。

板柳町の夢追人！

～みんなで心ひとつに全国大会優勝～

板柳中学校 野球部

町民の声を町政に

第5回定例会一般質問

第5回板柳町議会定例会が3月3日から10日までの日程で開催されました。3月4日に行われた「一般質問」に、6名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。



三戸 玲子

小学校統合について

問 今後、どのようなプロセスで統合を進めていくか。

答 (成田町長) 今後の進め方については、各小学校ごとに地域懇談会を開催し、地域の方々からご意見を頂きながら進めていく。

問 小中1つが望ましい形になったのか。

答 (永澤教育長) (永澤教育長) 平成26年の委員会の意見では、小中一貫教育となっていたが、見直し、小中連携という形式で進めたいと委員会では方針を固めた。

成人式延期について

問 延期はもう少し早く決断できなかったのか。

答 (永澤教育長) 教育委員会でも新成人の晴れの姿をつくってあげたい一心であったが、全国的に感染者が増え、1月4日開催の会議で延期することを急遽取り決めた。

問 成人式は人生の節目。今後どのようなことを考えているのか。

答 (工藤生涯学習課長) 8月15日に実施したいと伝えている。

板柳中学校のスクールバスについて

問 板柳中学校の冬期間スクールバスの運行料金が変更になったようだが。

答 (永澤教育長) 昭和42年に板柳中学校が統合したときの条件として、沿川地区をスクールバス運行としていたが、これまで有料の通学バスを利用していただいていた小幡、掛落林、柏木、牡丹森、横沢、飯田の6地区についても、令和2年度よりスクールバス無料運行とした。

町民の移動手段の確保について

問 運転免許を返納する人が増えてきており、移動手段の確保について考えなくてはならないと思うが、町長の考えを伺う。

答 (成田町長) コミュニティバスについては、乗り降りしやすい低床バスや運転手の確保のため、運用には巨額の経費が必要である。全て実現できればいいのだが、当面は病院の送迎バスを活用するなど対応していきたい。

問 病院の送迎バスを使うというもののPRをし、バス停も設置してはいかがか。

答 (成田町長) 昨年の4月から役場の前にも停車するように改善した。早速、町民の方に病院のバスを使える事を周知していきたい。

板柳高校の跡地について

問 2年後に閉校となる板柳高校について、今後どのように考えているか伺う。

答 (成田町長) 板柳高校の跡地については、今後様々な方策を検討したい。また、板柳高校の後援会からマイクローバスの寄贈のお話があり、教育委員会で利用させていただきたい。

問 閉校になる校舎、この後の活用を考えているのか。

答 (成田町長) 昨年の12月中頃、県の方から、閉校後の利活用の文書をもらい、それに対しては、ぜひとも町として利用したい旨回答している。具体的にどういうものを使うかは、新年度に入ってから内部の関係課で委員会をつくり、いろんな方策を検討させたい。





成田 陽光

米価下落懸念について

問 全国的にコメ余りが懸念される中、当町は新たな施策が必要だと考えますが、今後の稲作政策を伺う。

答 (成田町長)

耕作放棄地を発生させないため、担い手への農地の集約化や大規模化を図ることが大変重要である。高収益作物への作付転換を推進していくことが必要だと考える。

問 主食用米を飼料用米や輸出用米などに振ることについて、早い段階から関係団体や需要家と協議をしてはいいかがか。

答 (成田町長)

令和2年産同様、令和3年産も厳しいと思われる。主食用米を飼料用米作物あるいは転作を進めていかなければならない。

問 大豆転作について、これ以上増える事は考えにくく、耕作放棄地の減少に歯止めをかける事が難しいと考えるがいかがか。

答 (成田町長)

大豆転作をさらに推し進めながら、コメに代わる作物についても模索、挑戦していく必要があると考える。

問 収入保険の話が出てくると思うが、加入促進はしていただきたいが、それを当てにしない転作に対する町の方針を示していただきたい。

答 (成田町長)

農業を進めていくに当たっては、ある一定の保険制度を活用するのが当然だと思うが、保険に頼るのではなく、町で取れた農作物の付加価値を高めて農家所得向上につなげていくことも考えていかなければならないと考える。

板柳町長期振興計画について

問 第6次振興計画であるが、改めて策定方針を伺う。

答 (成田町長)

現時点では本年8月末の完成を目指している。

問 SDGs(※)についても長期振興計画に盛り込んでほしい。

答 (八木橋企画財政課長)

現在、審議委員、専門委員で議論しているが、SDGsは一つの基準として盛り込んだほうがいいのではとの意見も出ている。

町の外部へのPR戦略について

問 今後のwithコロナを見据えた当町のPR戦略について伺う。

答 (成田町長)

町で行っている各種広報活動については、目的や

対象者に合わせて様々な媒体を活用して行っている。新たな日常へ移行する中、デジタル技術のよい点を活用し、従来の広報媒体と組み合わせさせて対象者に合わせた広報活動を行っていく。

問 今後映画「いとみち」の映画に絡めたPR動画を制作する際には、もっと研究してもらいたい。

以前作成した動画を移住の促進に活用することだったが、コロナ禍で首都圏での活用の機会がなくなっている。そうなるとうーチューブなどで発信していかなくてはいけないので、今後を見据えて作製していただきたいと思うが。

答 (成田町長)

コロナ禍ということもあり、現在はインターネット等の媒体を活用して情報発信することが大事だと思っている。「いとみち」の関係も、インターネット等のメディアに載せて発信する。

問 SNSで情報を発信してはどうか。

答 (成田町長) 実施するに当たってメ

リット、デメリットがあると聞いている。若い方々の意見を聞きながら、ぜひ検討していきたい。

問 現在地域おこし協力隊が行っている情報発信を全町的なPRに活用すれば良いのではないか。

答 (成田町長)

ふるさとセンターを前面に出して、これを県内外にPRし、そしていろんな人に町外から来ていただきたいにぎわいをつくること町の活性化にもつながると思う。



※SDGsとは、国連が定める持続可能な開発目標の意味で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標



工藤 貢

新型コロナウイルス ワクチン接種の対応について

問 ワクチン接種についての現在の状況と今後の対応は。

答 (成田町長)

ワクチン接種対策室を設置し、事務体制の強化を図りながら、ワクチン接種に向けて準備を進めている。当町では、町内医療機関での個別接種と多目的ホールあぶるでの集団接種を併用して実施する予定としており、また、会場まで移動が困難な高齢者等の方々にはバスの送迎も検討している。



統合小学校の整備について

問 子ども達のために一日も早く快適で安全な統合小学校の整備を進めてほしいが、今後どのようなシナリオ、構想を描いているのか。

答 (永澤教育長)

平成26年の町立小学校適正規模等対策委員会報告を基本的に踏まえて、小学校統合に向けての基本方針を示している。今後、各小学校ごとに地域懇談会を開催し、広く意見を聞きながら、検討委員会ですらに計画の策定あるいは教育活動の吟味等について審議をしていく。

問 東小学校は、新年度から複式学級が2クラスになると聞いている。ほかの小学校と比べて子供たちに教育格差が生じるのではないか。

答 (永澤教育長)

現在東小学校では、複式学級による学力などの格差が生じないよう、支援員を配置して個別指導を工夫している。また、教頭先生や教務主

任の先生方が、学級を2つに分けてそれぞれの学年の授業を行う工夫もしている。今後は教育委員会としても見守りながら支援していきたい。

問 一日も早く統合小学校を建設して複式学級を解消してほしいと思うが、財政的にどうなのか。

答 (成田町長)

板柳中学校の新社舎を整備したときも国の補助金や有利な過疎債を活用したことにより町の持ち出しを極力抑えている。統合小学校の建設に当たっても制度、財源を活用して、子供たちのためにしっかりと対応したい。

問 消防団員の確保と消防防災力の強化について

答 (成田町長)

団員の処遇改善に努め、消防団に入りやすい環境整備を行っていききたい。消防防災力の強化については、3月末には板柳消防署新社舎が完成する。新社舎は、国道339号線バイパス沿いに移転することで多方面への出勤が容易になるなど、これまで以上に機能が強化される。さらに、新年度には高規格救急車への車両更新が行われるなど、地域の防災・救急の拠点施設としての機能強化が期待されている。この新しい消防署を拠点に消防署、消防団、そして町民との協体制を築くことで、さらなる消防防災力の強化につながるものと考えている。

消防団員の確保と消防防災力の強化について

問 安全で安心な暮らしを守るためには消防団員の確保がこれまで以上に必要だと思うが、どのような対策を考えているのか。また、板柳消防署新社舎の完成が間近だが、これを機に当町の防災力強化について、町長の考えを聞きたい。

安全で安心な暮らしを守るためには消防団員の確保がこれまで以上に必要だと思うが、どのような対策を考えているのか。また、板柳消防署新社舎の完成が間近だが、これを機に当町の防災力強化について、町長の考えを聞きたい。



議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

内 容		
6月7日(月)	本会議	特別委員会報告等、提案理由の説明
6月9日(水)	本会議	一般質問
6月10日(木)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
6月11日(金)	本会議	委員長報告等、質疑、討論、採決

※開催予定時間はいずれも午前10時です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。ただし、マスク着用をお願いします。また、発熱等の症状がみられる方はお断りする場合があります。





佐藤 文俊

**ふるさとセンター所属
一般職員の今後の業務
及び体制について**

問 りんごワーク研究所の
役割に変更があったと
聞いたが、ふるさとセンター
としての現在の業務分掌と
今後の体制に影響があるの
か。

答 (成田町長)
これまで町職員である
ふるさとセンター所長がり
んごワーク研究所の事務局
長に任命されていたが、新
型コロナウイルスの収束が
見通せない中、これから本
格的な経営改善に取り組ん
でいかなければならない現
状の中で、現場を一番知っ
ている公社職員が事務局長
に就いた。今回の人事異動
によって特に影響はないと
考えている。

また、板柳町ふるさとセ
ンター業務分掌規則に「財

団法人板柳町産業振興公社
りんごワーク研究所に関す
ること」と記載されている
ことについて、事務局長が
替わっても、町予算からり
んごワークに交付金が交付
され管理運営を委託してい
ることから、今後も業務分
掌への記載は残るものと思
える。

**ふるさとセンター一般
搾汁ジュースの褐変に
ついて**

問 一般消費者に対し、り
んごワークの販売する
ジュースと混同することに
よる風評被害の拡大を防ぐ
意味で、今後の対策や被害
を受けた利用者への賠償な
ど、再度確認したい。

答 (成田町長)
令和元年度に町の加工
場において缶に搾汁したり
んごジュースが数か月後に
褐変する現象が起きている。
昨年からはりんご加工機械の
納入業者に対して原因究明
と改善を求めているが、現
在もはつきりとした原因が
特定できていない状況にあ
る。納入業者からは様々な
対策を講じていただいてお

り、今後その推移を見守っ
ていきたいと思っている。
影響を受けた利用者への
対応については、まずは原
因の究明をしっかりと行っ
てから、できるだけ早期に
対策を検討していきたいと
考えている。

問 何件の方について被害
があったのか。

答 (會津ふるさとセンター所長)
今回の褐変の件で缶に
搾汁された方は23名となっ
ている。

問 23名のうち何件発見さ
れたのか、これは何年
に搾汁した件なのか。

答 (會津ふるさとセンター所長)
褐変が起きている
ジュースは全て令和元年度
のりんごを搾汁したもので
ある。

問 褐変の度合いについては、
程度の差はあれど、ほぼ大
半に褐変が見られたと報告
を受けている。

問 今現在このふるさとセ
ンターの18リットル缶
の搾汁はどのように対処し
ているのか。

答 (會津ふるさとセンター所長)
今現在も一般生産者か
らの搾汁は行っているが、
まだ原因がはつきりとしな

いという現状の中で、まず
ある程度の箱数、数量があ
る方はりんごワークの工場
で搾汁を行っている。ただ、
りんごワークのプラントの
規模が大きいので、最低で
も20箱程度ないと搾汁がで
きない。それ以下の少量の
搾汁を希望する方は、今現
在の設備の状況、万が一赤
くなる可能性もあるという
ことを十分に説明してから、
理解いただいた上で、町の
一般搾汁工場のほうで搾汁
を行っている。

問 この件をふるさとセン
ター所長が7月から、
町長は夏頃に褐変の事実を
知ったと確認したが、この
ままでいいか。

答 (會津ふるさとセンター所長)
2月16日、全員協議会
を開催いただいて、私から
現状の説明をさせていただ
いた。その際、まず一番最
初に褐変の現象が見られた
時期を7月、私とその褐変
の事実について確認したの
は9月から10月頃と答弁し
ている。

問 11月17日に所長に電話
したところ、ほかから
そのようなことがあったと
は聞いていないと回答を受
けたが、何か隠蔽の指示で
もあったのか。

答 (會津ふるさとセンター所長)
私の解釈の間違いであ
り、ご迷惑おかけしたこと
は、ここに訂正しておわび
したい。

問 今回の褐変の件で役場
2階応接室で話合いが
あったそうだが、瑕疵担保
責任についての話を非常に
大きな声を張り上げていた
と聞いたが事実なのか。

答 (村上副町長)
工事請負標準約款第40
条の瑕疵担保について、修
補命令もしくは修補と共に
損害の賠償を請求すること
ができると申し上げた。

問 恐怖心を覚えるほどの
言い方を受けたと聞い
ただが。

答 (村上副町長)
町としての権利を述べ
させていただいた。

※褐変とは、食品が、調理・加工・保存により褐色になること。



松森 俊逸

令和3年度当初予算について

問 令和3年度当初予算をどのような思いで編成したのか。

答 (成田町長) 町民の皆様の健康と暮らしを守ることを第一に考え、町が抱える様々な課題に向き合い予算編成に臨んでいる。何よりも重要視しているのは新型コロナウイルスの対策である。皆様が円滑に接種できるように、迅速に取り組んでいく。

問 リンゴと並んで当町一次産業の要であるコメについてどのような戦略があるのか。

答 (成田町長) 担い手への農地の集約

コメ生産について

化、大規模化を進めるとともに、高収益作物への作付転換の推進を図る。同時に、当町に適した水田利活用作物の模索など、調査研究を進めていく。

問 20年産のコメに対する実績に関して、実態に合っているとお考えか。

答 (小野農業委員会会長) 米価を考えると、大豆もしくは高収益野菜等の作付を推奨していくのも一つと考える。

コロナワクチン接種

問 コロナワクチンの接種時期は。

答 (成田町長) 65歳以上の高齢者に対しては、町内医療機関での個別接種と多目的ホールあぶるでの集団接種を併用して、4月以降に開始する見込みである。

小学校統合問題について

問 令和3年2月8日に開催された町総合教育会議において、①4校を1校に統合、②板中隣接地に建設

③可能な限り早期に開校、④小学校統合整備検討委員会の設置。以上の方針が決まったと町HPに掲載されている。このような方針を決めた時期を伺う。

答 (永澤教育長) 令和3年1月20日の教育委員会定例会で方針を決めた。

問 議会に対する協議は想定していなかったのか。

答 基本計画策定後に説明する予定だったのか。

答 (永澤教育長) 計画については、各区の懇談会等の意見を集め、それに基づいて検討委員会

問 昨年の9月4日時点では、何も決まっていなかったものが、令和3年1月20日の教育委員会定例会では、平成26年3月26日付の適正規模配置検討委員会の一部見直しも含めて進めると決めている。わずか4か月で何を協議したのか。

答 (永澤教育長) 1月20日の教育委員会定例会にて集中して話し合い、方針を決めた。

問 平成26年3月以来、7年間も放置していたも

のが急に動き出し、1回、1時間の集中討議で、その後、1回の総合教育会議で方針を決めている。町民や関係者の意見を聞きながらと言うが、議会への意見聴取や説明などが皆無である。このような進め方で良いと思うのか。

答 (永澤教育長) 町民の代表者である議員、学校関係者、地域の方々、保護者等、声を広く集約していくことが大事だと思う。

問 適正配置検討委員会の報告書は、当時の町長の私的諮問に対する報告であって、この報告書自体は当町教育行政を補完する意味のもので、極端に重く捉える必要はないと私は思っていたが、少なくとも議会には報告されている。今回、(小中)一貫から連携というふうの一部見直しがなされたが、議会に先に報告しないのか。

答 (永澤教育長) 2月8日に総合教育会議が開催されたので、早めに議会の方々に報告をと思い、2月16日に教育委員会の方針ということで出させていただいた。

の

問 統合問題の要因の一つとして、4校中3校の経年劣化に伴う修繕、総額5億8,441万3,000円を挙げているが、このような修繕計画はいつ立てたのか。

答 (対馬学務課長) 令和3年度以降の校舎等の大規模改造を交付金事業で行うには個別施設計画が前提条件になることから、令和元年に作成した。

オンライン学習について

問 タブレット端末を通常授業における学習アイテムとして利用し、オンライン学習は未定としているが、その方針に変わりないか。

答 (永澤教育長) タブレット端末を授業において活用していくことを考えており、オンライン学習での実施についてはまだ未定であるが、学習を保障する上でタブレット端末を活用したオンライン学習の導入は必要となってくるものと強く感じている。

の



鈴木清孝

ふるさとセンター施設の指定管理者制度等を活用した運営の導入について

問 施設運営の一部が町公社に委託されて30年以上経過している。施設全体に、指定管理者制度等を導入すべき時期にきていると考えるか。

答 (成田町長) 指定管理者制度を活用し、施設運営に民間のノウハウを活用することは、多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応することができ、町にとっても経費の削減等にもつながるものと考えている。

問 町一般会計予算及び決算ベースにおいて、ふるさとセンター施設にかかるとの経費について対比の推移とその平均値を伺う。

答 (成田町長) 決算額の平均値は、歳入平均決算額が6,588万1,533円、歳出の平均決算額が1億8,217万6,968円である。歳出から歳入を差し引いた決算額の5か年の平均は1億1,629万6,815円となっている。

問 既に指定管理しているいきいきセンター、公民館の指定管理料はいくらか。

答 (八木橋企画財政課長) 令和3年度予算案でいくと、いきいきセンターは363万円、公民館は1,155万円となっている。

問 いきいきセンター、公民館の修繕費の基準は設けてあるのか。

答 (八木橋企画財政課長) 双方とも受託者と協議して行っている。施設自体は町のものなので、令和3年度でもいきいきセンターの屋根塗装工事、トイレの改修工事を町の予算で対応したいと思っている。

問 指定管理者制度等を導入した場合の期待出来るメリット、及びデメリット等について伺う。

答 (成田町長) メリットとしては、町職員を配置する必要がなくなり人件費がコストダウンとなる。これまで町の歳入に入っていた施設の売上げも、指定管理者制度では自分たちの収入となるため、経営に対する意欲、モチベーションアップにもつながると考えている。

問 デメリットとしては、新たに指定管理料が発生することとなるが、町職員の人件費が不要となるため、実質的な管理料は下がる。ふるさとセンターは、町を代表する観光施設として、単に施設収入のみを目的としているのではなく、町のPRや地場産業の振興、体験農業の推進など多くの目的を持つっており、この目的達成のためには指定管理料の支出が発生したとしても、町にとっては大きな効果が期待できると考えている。

問 りんごのまち板柳にとつてはなくてはならない施設、また農家の所得の向上や住民の憩いの場、健康増進の場である。建物にある程度のお金がかかっても指定管理制度をやっ

答 (成田町長) 民間の活力、ノウハウを活用した指定管理者制度の導入も必要ではないかと考えている。

問 今後、さらに発展させるためにはどういった方法がいいのか、先進事例などを調査研究して、前向きに検討していきたい。

答 (成田町長) 民間の考え方を導入して改善していけば、必ず売上げの増になっていくのではないかと。例えばの話だが、年度途中で予算の組替え、条例、規則の整備をして指定管理者に移行するということも可能ではないのか。

問 (成田町長) ふるさとセンター、何かしらの改善を加えていく時期が来たのだからと考えている。その手法として指定管理者制度もその一つだと思つ。

答 (成田町長) いずれにしても、ふるさとセンターに合うような公設民営化を進めていくということが求められているので、もう少し時間を頂きたい。

問 1月1日付けで、ふるさとセンター所長が一般財団法人板柳町産業振興公社の事務局長併任を解かれ、公社職員が管理職である事務局長となっているが、職員のモチベーションアップや業績向上の意味でも、公社職員が常勤の専務理事・常務理事となり得る事も可能ではないか。

答 (成田町長) りんごワーク研究所の組織運営体制に関わることで町長の立場で申し上げることはできないが、今回りんごワーク研究所の事務局長に生え抜きの公社職員が就かれたことは、職員のモチベーションの向上、企業の活性化、あるいは業績の改善につながっていくものではないかと考えている。



予算特別委員会 総括質疑

令和3年度の各会計予算を審議するため、議員全員で構成する予算特別委員会（委員長・成田陽光議員／副委員長・濱名康治議員）を設置し、3月8日・9日の2日間にわたり詳細に審議しました。数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。

※令和3年度各会計予算の詳細については、広報いたやなぎ4月号に掲載されています。



◎新年度予算全体

■質問 今浩一委員

一般会計当初予算で、見直し、拡充した主な事業は。

▲八木橋企画財政課長

高校生を対象に加えた子ども医療費給付金や、第一子も対象とした、すこやか出生祝金などがある。見直したものは、選択肢が増えた高齢者の入浴券などがある。

◎町史編さん

■質問 長内良蔵委員

町史編さん事業はどれぐらいの規模、期間を予定しているのか。

▲成田町長

3年半位で計画している。例えば写真を多く使い、誰もが読みやすく、分かりやすい町史を目標にしている。

■質問 今浩一委員

町史制作業務委託料の内容は。

▲成田町長

3か年事業で総額2,840万円ほど制作費用を組んでいる。毎年平均して880万円ほど予算化している。委託業者とも一緒に資料の収集をしていき、最後には執筆して製本する。そういった資料集めの段階からいろいろなアドバイスを頂き進めていきたい。

◎りんごワーク交付金

■質問 鈴木清孝委員

ふるさとセンター費の、公社への交付金が昨年より増えているが。

▲會津ふるさとセンター所長

臨時職員の雇用形態の変更によるものである。

◎会計年度任用職員

■質問 佐藤文俊委員

会計年度任用職員の勤務が4時までになったと聞いたが。

▲大井総務課長

会計年度任用職員は7時間勤務となっている。フルタイムにした場合には退職手当等が発生する。

◎小学校統合

■質問 松森俊逸委員

去年の9月の一般質問ではスケジュールに関して全く未定だと話していたが、ここまで具体的なスケジュールを学務課長が提案している。誰とこのスケジュールを決めたのか。

▲對馬学務課長

学務課内で決めたものを教育委員の方々に審議していただいたものである。

■質問 松森俊逸委員

建設場所は板柳中学校の敷地が望ましいとなったているが、議会で評価、議論したこともなければ、話ししたこともないが。

▲對馬学務課長

あくまでも教育委員会の意向として、その場所が適切ではないかということと話している。

■質問 松森俊逸委員

最低40億する投資をしなければ駄目なのに、ここまでは具体的な基本構想どころではない基本計画の骨子を、これほど短時間に決めなければいけない理由が何かあるのか。

▲永澤教育長

あくまでも論議を進めていく上でのたたき台としてこの方針、構想というものを考えた。

■質問 今浩一委員

複式学級の解消であれば、いきなり新築の話が出てくるのはおかしい。3つの小学校を改修して使うとしても5億8,000万円ぐらいと聞いている。例えば一つの小学校に全部集めて改修すれば、当然5億8,000万もかからない。

町とは財政面については一切話をしていないのに、なぜその新築の話が出てくるのか。

▲永澤教育長

教育委員会が策定した基本構想の中に小中連携教育の推進がある。必ずしも密着した形で校舎がなくても可能だが、望ましくは近くにあったほうが連携は取り

やすい。即座に連携体制が取れるほうがより子供たちにとっては望ましい教育環境ということ、この新築というものが考えられる。

◎長期振興計画

■質問 松森俊逸委員

振興計画は全くゼロペーから議論が進んだのか。

▲八木橋企画財政課長

各課に第5次の計画の評価をもらい、今までもこなってきたことを土台として議論を進めている。

◎すこやか出生祝金

■質問 濱名康治副委員長

3人目を産んでくれる方は貴重だと思うが、なぜ削減したのか。

▲成田町長

これまでは第1子は該当にならず、第2子が5万円、第3子が10万円ということだったが、今回は一律5万円とした。

■質問 濱名康治副委員長

再度検討していただけないか。

▲成田町長

今後さらに良い制度にしていくためにも検討、改善していきたい。

■質問 鈴木清孝委員

次の6月定例会ぐらいまでにすこやか出生祝金の予算の組み替えは考えないか。

▲成田町長

人口減少対策の一環として子育て支援は大事なことである。第1子・第2子5万円、第3子10万円となっているが、さらに第2子7万円にしてもいいのではないかと考える。

◎女性の登用率

■質問 三戸玲子委員

我が町の女性の各種委員の登用率はどのようになっているのか。

▲工藤生涯学習課長

生涯学習課関連は33.3%、学務課関連は28.6%である。

◎商工費

■質問 松森俊逸委員

商工費の5,335万8,000円、構成比は全体の0.85%で1%にも満たない。商工関係者からは、コロナ禍なのでプレミアム商品券のプレミアム率を前回同様維持してほしいという意見も聞かれるが。

▲成田町長

予算額全体から見ると商工費は少ないかも分らないが、ただ、昨年はコロナ対策でいろんな商工業振興のための経済対策費用を盛り込んだ。令和3年度においても商店街の振興策に努めていきたい。

◎健診

■質問 佐藤洋治委員

どんな病気でも初期に見つかれば生存率はかなり高い。健診料の無料化を考えた方がいいのでは。

▲成田町長

手数料を無料にしたからといって健診率が高まるというふうには理解していない。健診に向けてのいろんな施策、啓発活動で考えていた。

◎りんごまるかじり条例制定のまち

■質問 佐藤文俊委員

7年ほど前までは、「りんごまるかじり条例制定のまち」という看板があった。それが、今の町長になってから、「りんごまるかじり条例制定のまち」という言葉がだんだん板柳からなくなってきたのではと感じているが。

▲成田町長

平成14年12月、まるかじり条例を制定して、町全体で安全・安心なりんごの取組ということで進めている。町勢要覧や役場内にある看板にもりんごまるかじり条例制定のまちというふうな明記している。これはりんご産業にとつて大変大事な危機を乗り越えてきたということの証であるので、今後さらにまたいろんな面で活用していきたいと思っている。

◎バーベキュー施設

■質問 今浩一委員

今年度中に設計を行っても完成は来年度。できるだけ早期完成に向けて進めていきたいという話だったが現状、どの程度進んでいるのか。

▲八木橋企画財政課長

7月以降、この問題については止まったままの状態である。説明するタイミングをはかっていたが、コロナなどで止まっている。また、この施設については過疎債を適用させたいと思っていたが、今年度の分はもう適用できないという状況になったので、今回改めて3年度の予算に上げさせていただいた。

■質問 今浩一委員

早く完成させ、町民の方々に使っていただく、そういう施設だと私は思っている。何のアクションもなくて理解を求めていきないうと、これは矛盾していないか。

▲成田町長

コロナ対策、その他のいろいろあつて、確かに議員への説明ができなかったこと、これは率直に認めなければいけない。

◎災害備蓄

■質問 鈴木清孝委員

防災対策、いわゆる災害があつたときの備蓄の関係について、新年度で加える部分はあるのか。

▲大井総務課長

毎年、備蓄用の毛布や災害時に必要なものを消耗品の予算の範囲内で購入している。飲料水がないので、毎年少しずつ準備していきたい。

◎青柳館大浴場

■質問 鈴木清孝委員

今の青柳館の脱衣所が非常に狭い。例えばあそこにある棚の場所を窓側に横にして移設するなど工夫できないか。

▲會津ふるさとセンター所長

限られたスペースの中で棚の配置を現在検討している。重ねて、脱衣所そのものを広くできないかも含めていろいろ調査をしている。

○賛否の分かれた予算案 ◆予算特別委員会（令和3年3月9日）

議案	氏名	佐藤洋治	工藤 貢	濱名康治	佐藤文俊	鈴木清孝	松森俊逸	今 浩一	葛西幸男	長内良蔵	成田 肇	三戸玲子	結果
議案第73号 令和3年度板柳町一般会計予算に対する修正動議（下記のとおり）		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	賛成1人 否決
議案第73号 令和3年度板柳町一般会計予算		○	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	賛成6人 可決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※委員長（成田陽光）は採決に加わらない。

議案第73号 令和3年度板柳町一般会計予算に対する修正動議の内容（発議者：松森俊逸委員）
ふるさとセンター関連予算の、ホームページ構築委託料、既存案内看板デザイン更新委託料、子供用遊具設置工事、イルミネーション設置・解体工事の各事業は、全体計画が固まってから整備すべきものと考え、修正を提案いたします。なお、この事業に関して無駄だとか、必要ないのだとかという思いは毛頭ございません。提案、執行する時期をもう少し考えていただきたい、そういう思いで提案いたします。なお、今はコロナ禍で疲弊した商工個人事業主やコロナ後を見据えた町経済を下支えするために予算を重点配分すべき時期だと、私は確信しております。

小学校統合問題検討特別委員会

目的

小学校統合については、多くの調整事項が考えられます。行政主導の方針に任せるのではなく、町政に町民の意見を反映するため、町議会では（仮称）小学校統合問題検討特別委員会を設置しました。

これまでの活動

●小学校意見交換会の実施

学区ごとに板柳町多目的ホール「あぷる」で実施しました。

月日	対象学区
3月23日	南小学校学区
3月24日	北小学校学区
3月29日	東小学校学区
4月2日	小阿弥小学校学区



●町内保育所保護者へのアンケートの実施

町内5つの保育所保護者に対してアンケートを実施しました。（沿川保育所分含む）

<アンケート抜粋>

保育所名	世帯数	参加者
第1保育所鶴住	82	62
第2保育所鶴住	41	35
第3保育所鶴住	44	33
小阿弥・沿川保育所鶴住	73	56
畑岡保育所鶴住	42	23
合計	282	209



問1

板柳町立小学校の統合について、あなたは関心がありますか。

(世帯) (率)

① おおいに関心ある	142	67.94 %
② あまり関心がない	26	12.44 %
③ わからない・どちらでもない	38	18.18 %

問2

あなたは小学校統廃合に、「賛成」ですか「反対」ですか。

(世帯) (率)

① 賛成である	125	59.81 %
② 反対である	22	10.53 %
③ わからない・どちらでもよい	59	28.23 %

問 3

問 2 で小学校統廃合に、「賛成」の方にお聞きします。
賛成の理由に近いものは何ですか。 (※複数回答を可)

(世帯) (率)

① 新築の小学校になるのであれば賛成	71	33.97 %
② 既存の学校でも改修等で新しくなるのであれば賛成	23	11.00 %
③ 学級数や友だちが増えるので賛成	78	37.32 %
④ 部活動が活発になるのであれば賛成	64	30.62 %
⑤ 小中一貫教育または連携教育を進めるのであれば賛成	45	21.53 %
⑥ 中一ギャップの解消や学業充実に期待できるので賛成	17	8.13 %
⑦ P T A行事や学校行事に期待がもてるので賛成	6	2.87 %
⑧ その他	8	3.83 %

問 4

問 2 で小学校統廃合に、「反対」の方にお聞きします。
反対の理由に近いものは何ですか。 (※複数回答を可)

(世帯) (率)

① いままでよいので反対	14	6.70 %
② 学級数が増え子どもに目が届かなくなるので反対	11	5.26 %
③ 学級数が増えることで、人間関係に不安を感じるので反対	5	2.39 %
④ 地域に学校がなくなるので反対	10	4.78 %
⑤ 小中一貫教育または連携教育になるのであれば反対	3	1.44 %
⑥ 中一ギャップの解消や学業充実に期待できないので反対	1	0.48 %
⑦ P T A行事や学校行事に期待がもてなくなるので反対	1	0.48 %
⑧ その他	1	0.48 %

問 5

「小中一貫教育」または「小中連携教育」について、
統廃合との関係性をどのように思いますか。

(世帯) (率)

① 統廃合する以上、「小中一貫教育」または「小中連携教育」は必要である	67	32.06 %
② 統廃合と「小中一貫教育」または「小中連携教育」はあまり関係ない	61	29.19 %
③ わからない・どちらでもよい	79	37.80 %

問 6

統廃合する場合、通学バスの必要性をどのように思いますか。

(世帯) (率)

① 通学バスは必要である	180	86.12 %
② 通学バスの必要性は無い	4	1.91 %
③ わからない・どちらでもよい	19	9.09 %

問 7

小学校統合問題は、町の財政面を含め将来の当町において、
住民サービスや新規事業などにも影響を及ぼす可能性のある
重要課題です。統合により新築・改築・改修、いずれにしても
町の予算が使われます。

統合の必要性についてお聞かせ下さい。

(世帯) (率)

① 町の最優先課題として、出来る限り早く統合する必要がある	42	22.49 %
② 統合した事によって町の財政が圧迫され、住民サービスの低下や 新規事業の縮小などにならない様、十分に検討する必要がある	86	41.15 %
③ 小学校統合問題より、先に取り組むべきものがある	6	2.87 %
④ 町民と意見交換を十分に行い、検討する必要がある	62	29.67 %
⑤ わからない	18	8.61 %

※アンケートに記載されていた意見及び意見交換会の詳細は
板柳町ホームページの「板柳町議会」からご覧いただけます。



任 査 委 員 会 常 審

総務産業厚生 常任委員会

■消防団

◎板柳の消防団団員の定数は何人か。

◎定数は310名である。

◎現在は何人か。

◎現在は約260名である。

◎定数より50人を切っているが、何か対策を考えているのか。

◎現状は地域の分団長を通して新規の団員を増やすことで協力をお願いしている状況。

◎女性の団員をこれから増やしていかなければならないと思うか。

◎工夫をして増やす方向で検討したい。

◎消防団員のあり方について。

◎将来的には人口も少なくななり、難しくなると思う。消防団の中でこれから話し合っていかなければならない。

■高規格救急車

◎高規格救急車が配備となるが、今までの高規格車とまた別に配備になるのか。

◎板柳消防署に現在ある高規格救急車は平成15年に購入したものであり、もう18年ぐらいたっている。今ある救急車が更新となる。

■財政運営

◎基金の残高は。

◎32億1,600万と見込んでいる。

◎大体予算規模の何%ぐらい基金置けば安全な財政運営ができるのか。

◎財政の安全性を示すという指標として4つの指標が示されている。今現在板柳町は、県内の中で数値は全て良い。

◎町史編さん1,000部刷るといいうのは頒布するということなのか。

◎現時点ではまだ販売するのかどうかは決めていない。

■路線バス

◎運行維持費の分については弘南バスさんで金額を決めているのか。

◎経営改善をしながら、それでもなお足りない部分を補助しているという形である。

■防火水槽

◎50か所もある水槽、維持補修を実施しているのか。

◎消防署のほうで定期的に巡回して点検をしている。

■転作問題

◎町がリーダースhipを取って飼料米と備蓄米の割合を示したほうが良いのでは。

◎飼料米を作るに当たっては、販売先を確保しなければいけないということと、PRなども考えていく必要がある。

■りんご問題

◎昨年はりんご黒星病の防除対策として、芽出し前と芽出し後に町で農薬購入の補助したが。

◎これからの補助すればよいのか、新薬販売されたのをきっかけに終了すればよいのか、非常に悩ましかったところではあるが、とりあえずは一区切りということである。

■ふるさとセンター

◎スタッフに対する救急救命講習は予定しているのか。

◎以前から消防職員指導のもと救急救命講習を受けている。

◎家族風呂の利用状況は。

◎大体25%ぐらい利用されている。

■板柳中央病院

◎救急搬送の受け入れ対応は。

◎救急の受け入れ件数が下がっている。救急患者をもっと受け入れるというような方向で考えている。

福祉建設文教 常任委員会

■すこやか出生祝金

◎今回一律5万円になったが、3人目の方は10万円から5万円となり不利になるか。

◎第1子から等しく支給したいことが主眼であった。金額の選定に当たっては、事業費の規模を前身の事業費と同等程度にした。

■小学校統合検討

◎町が設置する委員会の学識経験者は4人か。

◎地域関係者等と学識経験者は重複すると考えている。

◎基本方針は決定しているということか。

◎そうである。

◎校舎を新築した際の40億というのはいつ計算したのか。

◎今の中学校が25億7,000万程度かかっているので、概算で算出している。

■マイナンバーカード

◎町ではどれくらいの人が発行しているのか。

◎1月末で1,761人の方に交付しており、交付率は13.1%である。

◎作成するメリットは。

◎公的な身分証明として利用できること、e-Taxなどの行政の手続がオンラインでできることがある。

■新型コロナウイルス

◎ワクチン接種の送迎対策費として740万程計上しているが、内訳は。

◎バス送迎費用として120日分程度計上している。

一目で分かる審議結果

○全会一致の議案

◆第5回定例会（令和3年3月10日）

議案番号	議案	結果
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
議案第51号	町道の路線廃止について	全員可決
議案第52号	町道の路線認定について	全員可決
議案第53号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について	全員可決
議案第54号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更について	全員可決
議案第55号	板柳町議会議員及び板柳町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	全員可決
議案第57号	板柳町私債権の放棄に関する条例の制定について	全員可決
議案第58号	板柳町すこやか出生祝金支給条例の制定について	全員可決
議案第59号	板柳町職員等の旅費及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	全員可決
議案第60号	板柳町公民館条例の一部改正について	全員可決
議案第61号	板柳町国民健康保険条例の一部改正について	全員可決
議案第62号	板柳町介護保険条例の一部改正について	全員可決
議案第63号	板柳町道路構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第64号	板柳町道路占用料徴収条例の一部改正について	全員可決
議案第65号	板柳町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第66号	令和2年度板柳町一般会計補正予算（第14号）	全員可決
議案第67号	令和2年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	全員可決
議案第68号	令和2年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	全員可決
議案第69号	令和2年度板柳町介護保険特別会計補正予算（第4号）	全員可決
議案第70号	令和2年度国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第6号）	全員可決
議案第71号	令和2年度板柳町水道事業会計補正予算（第3号）	全員可決
議案第72号	令和2年度板柳町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第73号	令和3年度板柳町一般会計予算	全員可決
議案第74号	令和3年度板柳町国民健康保険事業特別会計予算	全員可決
議案第75号	令和3年度板柳町後期高齢者医療特別会計予算	全員可決
議案第76号	令和3年度板柳町介護保険特別会計予算	全員可決
議案第77号	令和3年度板柳町農業集落排水事業特別会計予算	全員可決
議案第78号	令和3年度国民健康保険板柳中央病院事業会計予算	全員可決
議案第79号	令和3年度板柳町水道事業会計予算	全員可決
議案第80号	令和3年度板柳町公共下水道事業会計予算	全員可決
議案第81号	板柳中学校解体工事請負契約の一部変更について	全員可決

○賛否の分かれた議案

◆第5回定例会（令和3年3月10日）

議案	氏名										結果	
	工藤 貢	濱名 康治	佐藤 文俊	鈴木 清孝	成田 陽光	松森 俊逸	今 浩一	葛西 幸男	長内 良蔵	成田 肇		三戸 玲子
議案第56号 板柳町立小学校統合整備検討委員会設置条例の制定について	○	×	×	×	×	欠	×	○	○	○	×	賛成4人 否決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※議長は採決に加わらない。

議会の動き (1月~3月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名		
1月	6日	議会だより編集特別委員会	3日	本会議(定例会日程、町長の提案理由等)	
	12日	町例月出納検査(監査)	〃	議員全員協議会	
	22日	議会だより編集特別委員会	〃	議会運営委員会	
	26日	議会運営委員会(定例会案件)	4日	本会議(一般質問・6人)	
	28日	議会だより編集特別委員会	〃	議会運営委員会	
2月	10日	町例月出納検査(監査)	3月	5日	総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)
	16日	議員全員協議会		〃	福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)
	17日	弘前地区環境整備事務組合議会定例会		8日	予算特別委員会
	〃	津軽広域連合議会定例会		9日	予算特別委員会
	〃	弘前地区消防事務組合議会定例会		10日	本会議(委員長報告、採決、閉会)
	22日	議案説明会		15日	町例月出納検査(監査)
	〃	西北五広域福祉事務組合議会定例会		22日	小学校統合問題検討特別委員会
	24日	国民健康保険運営協議会		23日	小学校統合問題に係る意見交換会(南小学区)
	26日	議会運営委員会		24日	小学校統合問題に係る意見交換会(北小学区)
	〃	青森県町村議会議長会定期総会		29日	小学校統合問題に係る意見交換会(東小学区)

議会組織に変更がありました

副議長		三戸 玲子
議会運営委員会	委員長	今 浩一
	副委員長	鈴木 清孝
	委員	成田 陽光
	〃	濱名 康治
	〃	工藤 貢
総務産業厚生 常任委員会	委員長	成田 陽光
	副委員長	佐藤 文俊
	委員	三戸 玲子
	〃	成田 肇
	〃	佐藤 洋治
〃	〃	濱名 康治

いたやなぎ町議会だより 「夢追人」を募集しています!



内 容:表紙写真の掲載
(町内在住、男女年齢・個人団体問わず。
大人の方でも大歓迎)

募集期間:随時募集

選考方法:議会だより編集特別委員会で審査を行い、選出します。

問 合 せ:板柳町議会事務局
☎0172-73-2111(内線401)

編集後記

みなさんこんにちは!

春、心地良い風が吹く季節になりました。農家の皆さんにとりましては、秋に向けての農繁期の始まりですね。県外在住の板柳の出身者がFacebookに書き込んでました。コロナウイルスの影響で、故郷に手伝いも兼ねて帰れない。幼馴染みと会えない・・・しかし。帰られないからこそ実家から米やりんごが届くと、板柳愛が強くなるそうです。故郷を離れてる板柳出身者も故郷の味を待っています。心待ちにしている方においしい米とりんごを届けられますように。

フリーフリー農家の皆さん♪

(委員 濱名 康治)

【発行責任者】

議長 佐藤 洋治

※第30号発行予定は8月13日頃です。

議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。